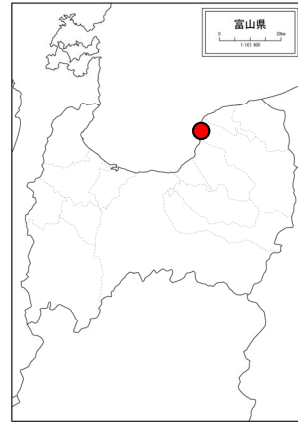


17.【陸域：直売所】既存施設との相乗効果を目指した直売所の整備：入善漁港（富山県入善町）

概要

- 入善漁港には、海洋深層水を活用した水産物蓄養施設があり、町水産業の拠点施設となっている。また、入善町では、水産物の地産地消・6次産業化の推進を主要な地域目標に位置づけている。
- 地域目標の実現に向け、漁協組合員が直売所を整備するにあたり、水産物蓄養施設との連携を図るため、水産物蓄養施設と隣接した蓄養施設用地と漁港浄化施設用地を交換し、直売所用地を確保。
- 水産物蓄養施設との相乗効果により、集客力による地域の観光拠点化、観光客数の増加、メディアへの露出による地域の知名度、ブランド力の向上等の効果があった。



背景

- ・入善町では、水産物の地産地消や、水産業の6次産業化の推進を主要な地域目標の一つとして位置付けている。
- ・入善漁港には、海洋深層水を利用した水産物蓄養施設があり、同施設では、入善ブランドの水産物の確立を目指し、深層水を活用した水産物の鮮度保持や、衛生的な取り扱いの強化による水産物の付加価値向上に向けた取組を実施しており、町水産業の拠点施設となっている。

有効活用の内容

- ・入善漁協所属の組合員が水産物の直販施設を整備するにあたり、水産物蓄養施設に隣接する蓄養施設用地を整備箇所として選定し、漁港浄化施設用地との交換により用地を確保。
- ・水産物蓄養施設に隣接する場所に直売所を整備することにより、水産物の供給等が容易であることから、一層の相乗効果を発揮させることが可能であると考えられる。

活用した漁港施設	漁港施設用地（補助用地である蓄養施設用地と単独用地である漁港浄化施設用地を交換）
実施時期	平成27年度
実施主体	入善漁協
実施した手続き	用地交換、占用許可、漁港施設用地利用計画変更

入善漁港

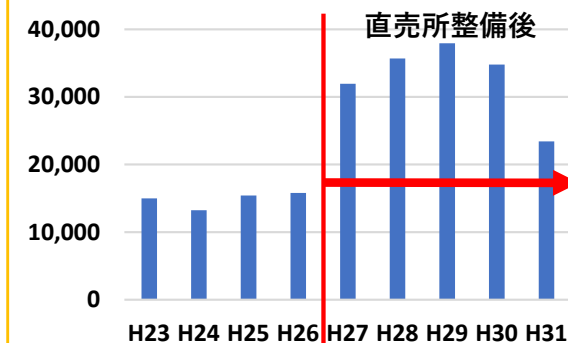


施設外観



効果

- ・観光客数の増加、観光拠点化



隣接する深層水活用施設の観光客数

- ・メディア露出による地域の知名度、ブランド力の向上



イベント時の様子